

令和6年度 社会福祉法人長光福祉会 まこと保育園 自己評価 結果

令和7年4月1日

【保育士等による自己評価 結果】

A：そう思う B：まあそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない

内容		評価			
		A	B	C	D
I 保育目標・保育方針					
1	園の保育目標や保育方針は理解している。	12	3	0	0
2	園の保育目標が子どもたちの中に生きている。	11	4	0	0
3	園の保育目標は社会の要請や保護者の願いが反映されている。	11	3	1	0
4	園の保育目標は全職員の共通理解を図っている。	12	3	0	0
5	運営規程は職員や保護者に周知されている。	10	5	0	0
II 保育計画					
1	園の保育計画は、保育目標を生かして作られている。	12	3	0	0
2	子どもたちの年齢ごとの保育計画がある。	15	0	0	0
3	園の保育計画は、園長・主任保育士と保育士が話し合いながら作られている。	12	3	0	0
4	園の保育計画は、必要に応じて見直されている。	12	3	0	0
5	園児のしたいことや、興味のあることを取り入れられるようになっている。	13	2	0	0
III 保育環境					
1	保育環境を常に清潔に保ち、美観を大切に心地よい環境で保育ができるように努めている。	13	2	0	0
2	室内の温度、湿度、換気、照明等は園児の活動に合わせて配慮している。	14	1	0	0
3	安心できる人的・物的環境を作り「感覚」の働きを豊かにするように配慮している。	13	2	0	0
4	屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている。	12	3	0	0
5	年齢の異なる園児が、触れ合えるような環境構成をしている。	15	0	0	0
IV 保育内容・方法					
1	全ての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している。	12	3	0	0
2	園児にわかりやすい温かな言葉遣いで穏やかに話をしている。	11	4	0	0
3	基本的な生活習慣は園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応している。	13	2	0	0
4	身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育む考慮をしている。	15	0	0	0
5	園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身に付ける配慮をしている。	15	0	0	0
V 食育					
1	いろいろな味に親しみ、喜んで食事ができるようにしている。	14	1	0	0
2	食材に興味を持ち、名前を覚えるような声かけをしている。	12	2	1	0
3	食事のマナーを知り、守って、楽しく食事ができる環境に心掛けている。	13	2	0	0
4	栄養素について興味・関心を持ち、苦手な食べ物も食べられるように工夫している。	11	4	0	0
5	野菜を育てる課程を楽しみ、収穫の喜びを味わい、達成感が得られるようにしている。	15	0	0	0
VI 保育士の役割・資質向上					
1	一人ひとりの園児をよく観察するように心掛けている。	12	3	0	0
2	全ての園児に平等に接するように心掛けている。	12	3	0	0
3	その場にふさわしい言葉遣いができている。	12	3	0	0
4	研修に行った研修内容は、全員に周知している。	15	0	0	0
5	園児のモデルとなれるように気を付けている。	9	4	2	0
6	保護者との信頼関係が出来ている。	9	4	2	0
VII 子育て支援					
1	園児の送迎時に園児の様子を保護者に伝えている。	12	3	0	0
2	保護者の子育てについての相談に乗っている。	9	5	1	0
3	子育て支援の内容について全員で話し合いをしている。	11	3	1	0
4	子育て講演、情報提供を行っている。	10	3	2	0
5	保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている。	10	3	2	0

Ⅷ 地域住民や関係機関との連携						
1	地域の人々と親しく挨拶ができている。	13	2	0	0	
2	地域の方は、園のことに興味を持ったり、園の方針を理解している。	9	5	1	0	
3	地域の行事に参加し、地域の文化や生活に触れている。	14	1	0	0	
4	地域の人との交流を大切にしている。	12	3	0	0	
Ⅸ 運営管理						
1	園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している。	15	0	0	0	
2	園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への対応が出来る体制がある	12	3	0	0	
3	保護者の意見はしっかりと聞き、園長に報告している。	13	2	0	0	
4	園の施設の安全点検、衛生管理をしっかりと行っている。	13	2	0	0	
5	事故災害時のマニュアルがあり、対応がすぐ出来るようにしている。	12	3	0	0	
6	緊急時のために医療機関等の連絡先が決まっている。	15	0	0	0	

【 保育園による自己評価と改善】

Ⅰ 保育目標・保育方針	保育園の理念・方針・目標を再確認して明確にしなければならない。 また、子ども一人ひとりの人格を尊重して保育を行う。
Ⅱ 保育計画	職員間の共通意識のもとで計画を立てなければならない。 今後も継続してコロナ禍を考慮の元に取り組む。
Ⅲ 保育環境	園庭の整備とともに、遊びの空間作りに取り組んでいる。安全性が高く 子どもの動線に配慮した環境を設定し、死角をつくらない。
Ⅳ 保育内容・方法	個々の成長をしっかりと把握し、それぞれの成長に応じた保育を しなければならない。
Ⅴ 食育	毎月「食育活動の日」を設け、様々なカテゴリーの活動を行い 食に関して興味を持たせている。また、食を通して本来の力を取り戻す。
Ⅵ 保育士の役割・資質向上	研修報告は、報告書と併せて毎月の職員会議にて周知されている。 また、保護者との連携にも努めている。その他キャリアアップ研修等。
Ⅶ 子育て支援	子育てについての不安・疑問を逐次対応している。保育の様子を 保護者に伝えている。気軽に相談できる環境構築の改善を要する。
Ⅷ 地域住民や関係機関との連携	主に地域における安全性の確認、小学校や療育施設、行政ときめ細やかな連携を図る。
Ⅸ 運営管理	S N S 等で簡単に情報が拡散される時代において、個人情報の漏洩は 運営の危機に繋がる。守秘義務遵守を心掛ける。